

## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月2日

上場取引所 東

上場会社名 エムケー精工株式会社  
 コード番号 5906 URL <http://www.mkseiko.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月5日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 丸山 将一  
 (氏名) 小林 文彦

TEL 026-272-0601

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年3月21日～平成25年6月20日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	4,087	5.7	294	24.1	265	18.5	127	△34.9
25年3月期第1四半期	3,866	3.0	236	244.8	224	321.0	196	320.7

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 189百万円 (29.0%) 25年3月期第1四半期 146百万円 (146.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	8.81	—
25年3月期第1四半期	13.53	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	19,803	8,094	40.9	558.17
25年3月期	19,641	8,020	40.8	553.09

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 8,094百万円 25年3月期 8,020百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年3月21日～平成26年3月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,000	1.4	420	△33.0	400	△33.9	200	△57.2	13.79
通期	19,000	0.9	810	△6.9	720	△7.9	420	△29.8	28.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	15,595,050 株	25年3月期	15,595,050 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	1,093,636 株	25年3月期	1,093,042 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	14,501,771 株	25年3月期1Q	14,502,008 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権下における金融緩和をはじめとした経済政策により円高の是正や株価上昇等、景況感は回復しつつあるものの、実体経済への波及には至らず、欧州債務問題や新興国経済の減速等景気下振れ懸念もあり、先行きは依然不透明な状況にあります。

当社グループ関連業界におきましては、設備投資に回復傾向が見られましたが、市場では激しい価格競争が繰り広げられ、引き続き厳しい事業環境で推移いたしました。

このような状況にあつて当社グループは、顧客ニーズの変化に敏感かつ柔軟に適応し、環境問題に配慮した商品開発を行うとともに、製品の開発から販売まで一貫した合理化やVAの推進、在庫削減など、より強固な財務基盤の構築に向けて更なるコスト削減に取り組み、本質的かつ構造的に健康な企業へと体質改善を図ってまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は40億8千7百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益は2億9千4百万円（前年同期比24.1%増）、経常利益は2億6千5百万円（前年同期比18.5%増）、四半期純利益は法人税等が増加し1億2千7百万円（前年同期比34.9%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### (オート機器事業)

主要製品の門型洗車機は、SS業界の大手顧客やカーディーラーにおきまして、エコカー補助金終了の反動やSS地下タンク規制に伴う改修等の影響による買い替え需要減少が懸念されたものの好調を維持し、オイル機器においても販売が堅調に推移いたしました。また、メンテナンスを中心としたアフターサービスに注力いたしました結果、売上高は前年同期比8.4%増の27億1千7百万円となりました。

#### (情報機器事業)

一般店舗向け小型表示機及びアミューズメント業界向けフルカラー表示機におきましては、更新需要に回復傾向が見られるものの、海外製品との厳しい価格競争に晒され苦戦いたしました。また、官需関連の道路情報板は、第2四半期へ一部納入ずれ込みが生じたこともありまして、売上高は前年同期比5.4%減の5億5千1百万円となりました。

#### (生活機器事業)

雇用や所得環境の改善の遅れによる消費者の低価格志向・節約志向は根強く、加えて廉価品の台頭による価格競争の影響を受け、調理家電を含めた一般家庭向け商材は、厳しい状況が続きました。また、保冷米びつは堅調に推移したものの、農産物低温貯蔵庫は伸び悩み、売上高は前年同期比7.2%減の5億5千9百万円となりました。

#### (住設機器事業)

子会社の株式会社ニューストが行う事業で、木・アルミ複合サッシ及び反射板式消音装置の製造・施工が主な事業であります。主要取引先である建設業界は引き続き厳しい状況にありますが、前年度に積み上がった受注残が当第1四半期売上に寄与できましたことから、売上高は前年同期比58.7%増の2億1千4百万円となりました。

#### (その他の事業)

その他の事業は、長野市内で展開しております「長野リンデンプラザホテル」の運営事業及び保険代理業、不動産管理・賃貸業であります。ホテル業は、長野市内での競合が激化し厳しい状況が続いておりますが、売上高は前年同期比14.2%増の4千5百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1億6千2百万円増加し198億3百万円となりました。流動資産は2億2百万円増の103億2千1百万円、固定資産は3千9百万円減の94億8千1百万円となりました。これは主に事業の閑繁等の季節的要因に伴い、受取手形及び売掛金が1億9千3百万円減少したこととたな卸資産が5億9千8百万円増加したことによるものです。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の合計は、前連結会計年度末に比べ8千8百万円増加し117億9百万円となりました。流動負債は4億2千5百万円増の91億4千2百万円、固定負債は3億3千6百万円減の25億6千6百万円となりました。これは主に短期借入金が増加したことと長期借入金が増加したことによるものであります。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度に比べ7千3百万円増加し、80億9千4百万円となりました。これは主に四半期純利益1億2千7百万円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては概ね計画どおりに推移しております。よって、現時点では平成25年5月2日付「平成25年3月期決算短信」で公表しました業績予想から変更はございません。

今後、業績予想数値に修正が生じる場合は、速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年3月21日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,540,003	1,443,149
受取手形及び売掛金	3,910,504	3,716,866
商品及び製品	1,397,452	1,615,966
仕掛品	1,211,843	1,358,898
原材料及び貯蔵品	1,770,055	2,003,386
その他	309,543	201,474
貸倒引当金	△20,240	△18,498
流動資産合計	10,119,163	10,321,242
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,859,857	2,831,214
機械装置及び運搬具(純額)	262,034	304,234
土地	2,981,164	2,981,164
その他(純額)	138,710	154,878
有形固定資産合計	6,241,767	6,271,491
無形固定資産		
のれん	1,057,042	1,029,826
その他	528,881	530,573
無形固定資産合計	1,585,923	1,560,399
投資その他の資産	1,693,487	1,649,764
固定資産合計	9,521,178	9,481,655
繰延資産	966	724
資産合計	19,641,308	19,803,622
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,030,272	1,094,160
短期借入金	2,960,000	3,330,000
1年内返済予定の長期借入金	1,637,843	1,563,679
未払金	2,490,303	2,706,677
未払法人税等	170,934	35,082
引当金	306,712	102,070
その他	121,539	310,956
流動負債合計	8,717,606	9,142,625
固定負債		
社債	100,000	—
長期借入金	2,290,561	2,071,831
退職給付引当金	256,153	252,914
その他	256,032	241,957
固定負債合計	2,902,747	2,566,702
負債合計	11,620,353	11,709,328

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月20日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,373,552	3,373,552
資本剰余金	2,951,143	2,951,143
利益剰余金	2,419,826	2,431,502
自己株式	△510,121	△510,357
株主資本合計	8,234,400	8,245,841
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,150	29,980
繰延ヘッジ損益	17,390	6,548
為替換算調整勘定	△289,987	△188,076
その他の包括利益累計額合計	△213,446	△151,547
純資産合計	8,020,954	8,094,293
負債純資産合計	19,641,308	19,803,622

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年3月21日 至 平成24年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年3月21日 至 平成25年6月20日)
売上高	3,866,879	4,087,533
売上原価	2,511,396	2,646,700
売上総利益	1,355,482	1,440,833
販売費及び一般管理費	1,118,560	1,146,763
営業利益	236,922	294,069
営業外収益	21,740	21,611
営業外費用		
支払利息	29,296	24,137
その他	5,328	25,954
営業外費用合計	34,624	50,092
経常利益	224,038	265,588
特別利益		
固定資産売却益	30	59
特別利益合計	30	59
特別損失		
固定資産除却損	75	1,976
特別損失合計	75	1,976
税金等調整前四半期純利益	223,993	263,671
法人税、住民税及び事業税	10,722	27,733
法人税等調整額	17,031	108,246
法人税等合計	27,753	135,979
少数株主損益調整前四半期純利益	196,240	127,691
四半期純利益	196,240	127,691



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月21日 至平成25年6月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	196,240	127,691
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△96,896	△29,169
繰延ヘッジ損益	△8,970	△10,842
為替換算調整勘定	56,626	101,910
その他の包括利益合計	△49,240	61,898
四半期包括利益	146,999	189,590
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	146,999	189,590

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年3月21日 至平成24年6月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	オート機器事 業	情報機器事業	生活機器事業	住設機器事業	その他の事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	2,506,971	582,307	602,581	134,844	40,174	3,866,879	—	3,866,879
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,211	8,689	92,192	3,588	35,233	142,915	△142,915	—
計	2,510,182	590,997	694,774	138,433	75,407	4,009,795	△142,915	3,866,879
セグメント利益又は 損失(△)	463,795	△20,277	44,009	△85,165	16,086	418,447	△181,524	236,922

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△181,524千円には、セグメント間取引消去6,519千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△188,044千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年3月21日 至平成25年6月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	オート機器事 業	情報機器事業	生活機器事業	住設機器事業	その他の事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	2,717,164	551,068	559,361	214,049	45,889	4,087,533	—	4,087,533
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,173	8,662	79,954	11	35,202	127,003	△127,003	—
計	2,720,338	559,729	639,315	214,061	81,092	4,214,537	△127,003	4,087,533
セグメント利益又は 損失(△)	513,789	△6,258	16,346	△58,223	20,334	485,987	△191,917	294,069

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△191,917千円には、セグメント間取引消去6,521千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△198,429千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。